

海外短信



～インドネシア～

「私どもの会社FPAI」
インドネシア ジャカルタ

～ 古河AS(株) ～

私どもの会社 FPAI (PT. Furukawa Permintex Autoparts Indonesia) は、ジャカルタの東方に位置する、西ジャワ州ブカシ県チカランの工業団地にあります。この工業団地は、規模はそれほど大きくはありませんが、中にモールや飲食店・銀行その他があり、特に寿司・ラーメン・家庭料理等を自慢とする日本食店は10店近くあり、重宝しています。

操業開始は2003年4月で、今年でちょうど10年となるワイヤーハーネスを製造する会社です。現在の従業員は約400名弱で、当地のお客様に納入する製品の他に、一部日本向けの製品を製造しています。

<FPAI 駐在員とスタッフ>



インドネシアでは、この数年間ずっと年間5～7%の成長を継続しています。これに伴い車の販売台数も順調に拡大して2012年は110万台余りを記録し、既に東南アジアではタイに次ぐ規模となっていますが、タイと比べて4倍近くの人口2億4000万という市場を考えると、将来に底知れないものを感じています。

このような好景気のインドネシアですが、他の東南アジア諸国と同様、人件費の高騰の問題を抱えています。地域毎・業種毎に自治体が設定する最低賃金は、額・

実施時期とも強制力があるため甘受する以外になく、日々の改善活動で克服すべく、知恵を絞っています。

尚、組合活動について、弊社では、まだ実力行使といった事態には至っていません。これまでの組合との良好な関係を維持すべく、来る4月には労使共催での操業10周年イベントの企画を立案中で、従業員からも楽しみにされています。

また、現在3名の駐在員には、別の不安もあります。それは、どんどん状態が悪くなっていく交通事情です。現在は3名とも、ジャカルタのアパート暮らしですが、ジャカルタから4~50キロの高速道路を使った通勤では、1時間半は良い方で、酷い渋滞では4時間余り掛かったりします。

<昼夜を問わず渋滞するインドネシアの交通事情>



この渋滞ですが、毎回よく原因が解らず、ドライバーに聞いても予測は出来ないようです。「そろそろ会社近くのアパートに移る頃合いかも」というのが、駐在員間での話題になっている今日この頃です。

私共が頑張ることでこの国の発展に協力しているという自負の一方、日々悪化していく渋滞を見ると、胸中複雑なものが混じるのも感じています。

以上、インドネシアからでした。